

令和5年度第2回社会教育委員会議定例会会議録（8月）

【日時】 令和5年（2023年）8月16日（木）15時30分～16時30分

【場所】 鎌倉商工会議所102会議室

【出席委員】 蛭田議長、石井委員、下山委員、中島委員、芳賀委員、黒木委員、岡田委員

【行政職員】 小林教育文化財部長、保住教育文化財部次長兼教育総務課長、
鈴木教育文化財部次長兼文化財課長、中島生涯学習課長、栗原図書館長

【事務局】 松山社会教育主事、岸社会教育指導員

【議事内容】

1 開会

事務局

最初に8月1日付で鎌倉市教育委員会教育長に高橋洋平が就任したので報告させていただく。なお、教育長は他の公務があるので退席させていただく。

蛭田議長

最初に委員の出欠状況から願います。

事務局

梨本委員、島田委員、遠山委員から欠席の連絡を受けている。本日は委員7名が出席しており、社会教育委員会議第3条の規定で定める過半数の出席に達していることから、会議は成立していることを報告する。なお、本日初めての委員の方がいるので紹介させていただく。鎌倉高校校長の岡田委員、PTA連絡協議会から芳賀委員が参加されるのでよろしく願います。

蛭田議長

この会議が成立しているとの報告を受けたので会議を進める。事務局より本日の会議資料の確認を願います。

事務局

机上の端末にファイルが保存してあるので画面の確認を願います。1つ目が次第、2つ目が議案集、ほか資料のファイルとなっている。

2 議題

（1）報告事項

ア 鎌倉市生涯学習センターの管理運営に係るアンケート調査の結果について（議案集P1）

中島生涯学習課長

令和4年10月より、鎌倉市生涯学習センターの管理運営は指定管理者が行っているが、利用区分や開館時間等の変更により、令和4年2月市議会定例会において、「利用者にとって使いやすい施設となるようアンケートを行うこと」という附帯決議がなされた。この附帯決議を受け、この度、鎌倉市生涯学習センターの全利用登録団体代表者へアンケート調査を実施したことから、その結果を報告するもの

である。「鎌倉市生涯学習センターの利用に関するアンケート調査について」をご覧いただきたい。最初が表紙、1ページから10ページがひとまとめになっており、11ページに少し調査結果を俯瞰したものの、12ページ以降に自由記載欄だけまとめたものである。本アンケートは令和5年2月24日から令和5年5月19日までの期間で実施し、送付数3,622件に対し回答数1,165件で回答率は約32%となっている。細かく説明させていただくと、まず、令和4年10月以降の鎌倉市生涯学習センターの利用に関しては、1ページ問1のとおり、「利用している」が55%、「利用していない」が43.6%となっている。利用していない理由としては、12ページの自由記述の間2に書いた通り、「他の施設を利用」、「コロナ禍の影響」、「10月以降の利用がまだない」「活動時間と合わない」という理由が大半を占めていた。また、利用したことがある団体は、2ページ問6、問6-1のとおり、抽選予約申込をし、概ね希望日時で当選している事が実際にこの調査で分かった。また、現在の入替時間に関しては、3ページの間7のとおり、大変好評を頂いており64%が「今のままでよい」と回答している。指定管理者制度による管理運営に関して、指定管理制度に移行したことで以前に比べて使いやすくなったかについては、4ページ問9のとおり、41.5%が「変わらない」と回答している。利用についてはこのような形となっている。この先が少し議論を頂いたところになるが、集会室の利用に関して、6ページ問14-1のとおり、利用時間枠の9時～11時が31.3%、11時30分～13時30分が36.1%、14時～16時が40.4%となっており、現在の利用時間枠に関しては、問14-2のとおり、活動に「合っている」37.2%、「合っていない」が45.1%となっている。利用時間枠としては、問14-3のとおり、2時間、3時間が過半数を占めており、概ね2・3時間での利用が理想だという状況である。ホールに関しては、8ページ問15-2のとおり、週末（土曜日、日曜日）の利用が多く、9ページ問15-3のとおり、13時～16時での利用枠が一番多かったことが確認できる。また、問15-4のとおり、活動実態に「合っている」が40%、「合っていない」が35.8%であった。これらの結果のうち、利用時間枠の項目について、さらに細かく見た結果が、11ページの上段「集会室利用について」及び下段「ホールの利用について」である。集会室については、「集会室利用について（アンケート結果の内訳）」のとおり、9時～11時では、活動実態に「合っている」が30.3%、「合っていない」が54.6%、11時30分～13時30分では、「合っている」が29.9%、「合っていない」が55.6%となっており、「合っていない」が半数を超える結果となった。その他の時間帯では、14時～16時では、「合っている」が38.1%、「合っていない」が47.7%、16時30分～18時30分では、「合っている」が39.2%、「合っていない」が45.6%、となっており、「合っていない」がやや多くなっている一方、19時～21時では「合っている」が51.4%、「合っていない」が26.4%と、「合っている」が半数を超える結果となった。同じようにホールについて見てみると、下段の「ホール利用について（アンケート結果の内訳）」のとおり、9時～12時では活動実態に「合っている」が45.5%、「合っていない」が38.6%、13時～16時では「合っている」が40.3%、「合っていない」が43.1%、17時～21時では「合っている」が54.8%、「合っていない」が22.6%と、活動実態に「合っている」と「合っていない」がほぼ同数か、時間帯によっては「合っている」との回答が半数を超える結果となった。以上のとおり、今回のアンケートから、集会室の利用時間枠については、全体では、現状を否定する意見が現状を肯定する意見を上回っており、特に9時から13時30分にかけての時間帯では現状を否定する意見が半数を超えている。一方入替時間については非常に好評で、現状を肯定する意見が現状を否定する意見を大きく上回っている。一方、ホールの利用時間枠については、全体では、現状を肯定する意見が現状を否定する意見を若干上回っているという状況が確認できた。この結果を受けて生涯学習課としては、今

回のアンケートが指定管理制度導入後半年を経た時点であることも踏まえると、この結果をもって、直ちに現状の利用時間帯の区分を早急に変更する必要があるとまでは言えないものの、最終的な結論を出すには、情報が不足していると考えている。ついては、令和6年度の初旬までに、利用時間枠を中心とした質問項目に絞った形で再度アンケートを実施し、その結果を受け、利用時間枠の見直しに係る最終的な結論を出す方向で検討を進める。

蛭田議長

なかなか微妙なデータのようと思うが、調査結果について質問、意見はあるか。

中島委員

私は、開館当時から使っており、前の状態と今の状態と比べると、舞台を使いたい色々な方の話を聞くと、16時までという、逆に言うと本番の時間を前にするということがあったり、片付けも入れてとなると、ホールの場合は次の時間帯まで取るということになり、お金がまたかかってくる。アンケートを出した団体に聞いたところ、「合っている」と言っている、皆さん2枠取っている。つまり、16時半から18時半と、それから19時半までやりたいという方は2枠取って活動しているので、結果的にはお金がかかるので満足してはいない。合唱団の方たちなどは、食事の用意をしてから出てくるとか、お子様をどこかに預けたり、迎えに行ってから来る状態があって、皆さん工夫されて4時間の枠をわざわざ取って、その後は使わないで帰っているという無駄なことをしているのだと数多くの団体から聞く。特に合唱の方たちは発声練習だけで2時間が終わってしまい、本題の歌を歌って練習の歌い込みをするというができないと聞き、私達も舞台の稽古をするのに、本番が1時間半くらいの舞台をする集まりに、この時間の枠には入らないことが多く2時間を取ったり、少し高くなるが、舞台でやる時には延長の最後21時から22時までを取って、21時半までの稽古にして練習をしていくというような状況がある。一概に数字の中で「良い」ということだけを取るのは非常に危険と思っている。皆さんが言っているのは、ホールとか受付の方たちは前代の指定管理になる前のやり方、前と同じような状況で市民が使えるような方法にしてくださいとお願いしていた。市民は窓口に行っても指定管理前と同じかどうかは分からないので、窓口の方たち、ホールの方は恐らく最初からいらっしゃる方たちなので、降りてきて下さってきちんと説明をして対応してくれる。ですから、ホール担当者の方たちの力でこのようなアンケート結果になっているのではないかというような気がする。入れ替えに関しては、最初のうちは聞くところによると喧嘩になったり、色々なことがあったようだが、私達は昔から時間帯のインターバルがなくても18時までだという、当然10分くらい前には出る、その次の人が来ていて入れ替えをするということで、問題なく何十年と来ていたのに、突然この時間帯にインターバルを作ったことによって規則ができてしまい、15分経ったから出てください、時間だからというように揉めたことは聞いている。なので、この数字だけを頼って「うまく使えている」ということではなく、皆さんが工夫していると思う。皆さんの要望は午前・午後・夜間帯で使った方が生涯学習という点で、お年寄りから若い人まで一緒になって合唱団をやろうとか、お芝居しようとか、講習会などをやりたいと思っても、年齢層が別れてしまうので、学習センターにいられる時間帯、色々なことをする時間が短くなって、逆に年齢層が分かれてしまい、人が集まらない、募集しても集まらない、という事がある。読み聞かせの教室をやっていた団体が、お年寄りが読み聞かせして、小さい子たちのお母さんたちにも来てもらいたいのだけれども、時間帯が短くなった事で、時間帯が合わないと言うような事を聞いたりする。そういうのを聞いたりすると、やはり生涯学習センターと言っている以上は年齢が幅広く皆さんが使えるような部

屋があったらと思うので、出来るだけ元の時間帯が絶対にいいとか、今の時間帯が駄目だとかそういうのではなく、もう少し上手く調整出来るような、もしくは3時間ぐらいで使える、一回で使えて、高くなってもいいから3時間は使いたいと言う。しかし2枠で4時間使うとかなりの金額になってしまう。なので、出来るだけ金額をかけないで皆さんに提供が出来たらとか言っていることが多い。また、このアンケートを書く時、自分も少し書きづらいアンケートだったと思う。どこまで書いていいのか、どのように書いていいのか少し分かりづらかった。皆さん、実は栄区や逗子の方のホールに行ったり、横浜に行ってしまうたりしている。地元でなかなかそのようなことが出来ず、お年寄りの方が今までやってきたことができなくなってしまったと聞いたりする。出来るだけこの鎌倉市の中で文化を育てて行きたい。文化・芸術というものは見えないものなので、なかなか上手く出来ないと思うが、出来るだけ皆さんが良い状況でやりたいと思う事が出来るような鎌倉市になってもらいたいと凄く思っていて、このアンケートを書かせてもらった。

中島生涯学習課長

基本的には、やはり皆さまに喜んでいただく為の施設だというのがまず大前提なので、なお且つ使っただきたいということがまず大前提である。書きづらいアンケートだったという指摘だったので、次回は、利用区分のものについて特化して、再度伺おうと考えている。ホールについては、やはり午後がやはり使い難いというイメージか。午後ももう少し使いやすくし、今回夜間が少し増えているが、夜間は前に戻した方がいいということが基本的な意見か。

中島委員

本番を2時間使用とすると、リハーサルとか仕込みとか、色々な段取りをして、照明を合わせたりしていくと、本番の時間が、昔は15時とか15時半から出来て、終わりが17時半で18時に退出、と出来たが、今は16時まで出ないとならない。そうすると、15時半までに本番が終わらないと片づけが出来ないので、もう1コマ借りなくてはならないという段取りになってしまう。なので、出来るだけ夜の時間帯、お客様たちが見終わるのは18時とかにも出来るように、1日借りていれば、その後18時から22時、出るのは大体21時半なので、21時45分ぐらいまで半までの間に片づけ終わるまでいいと思っていたのに、それが出来なくなってしまった。出来るだけ上手く舞台を使い勝手が良いというのは、ただ歌だけでピアノがあって、弾いて終わりというのではあれば、それは簡単にピアノだけ片づければ良い訳だが、合唱になると、箱台が舞台に乗っているから、片づけたりする時間を含めて貸す訳ですので、今度は時間がかかり過ぎてしまって、出てしまうと、今度は次の時間帯を借りなければならない。そうすると高い。たかが30分か1時間の為に夜21時まで借りるお金を払わなければならないという事になるので、やはりそうなってくると夜の時間帯にコンサートできる場所はないかとなると、逗子でやるといった現状に来てしまっているのを聞く。

中島生涯学習課長

やはり皆さんに喜んでいただく為の文化の施設なので、検討させていただく。夜間の方が使い勝手が上がっている事はあるが、ただ今後のアンケートでは、時間を分けて、ストレートにお伺いする形になるかなと考えている。

中島委員

上がっているのは2コマ取っているからである。16時では絶対に終わらないので、その後ろのコマまで片づけをする為に使っているの、数は上がっているのだと理解している。

中島生涯学習課長

集会室についても発言されていたが、集会室については、ホールよりも少し厳しいものになっていると意識している。ある意味、一番望ましいのはどれかと言う選択肢形式なものがアンケートとしては良いと考えている。入れ替え時間のところをどうするか、と言う事も含めて後ほど皆さんに伺い、システム改修等もあるので、変えるとなってもすぐにとすることは厳しいが、より良い施設にしておくために着実に努力をしていきたいと思う。

中島委員

皆さんに話して、良い方向で改善されるらしい、と言う事は伝えておく。もう一度アンケートがあるらしい、とも伝えておく。

小林教育文化財部長

今回の結果が、時間区分について 8 対 2 で合っていないという結果であれば即時、前回の区分に戻す等、時間区分変更もあり得たかと思うが、集会室については 45.1%対 37.2%、ホールについては、35.8%対 40%で合っていないという結果となった。集会室については合っていないと回答した団体の割合が多いが、合っていると答えた団体が 37.2%あり、ホールについては、合っていると回答した団体の割合が多いが、一方で 35.8%の団体があっていないとの意見である。この結果を汲みながら、今、このアンケートだけで、もう何もやりませんというわけではなく、次に進むためにもう少し細かいところ、1時間区分の方がよいのか、人気の時間帯・時間枠はどのようなものなのか等、よりよい時間区分について検討したい。そのために、今後はより時間に特化した形で、もっとより良くするためにはどうしたらよいか詳細について利用者の声を聞くこととしたい。

中島委員

今ホールの時間と集会室の時間がずれているのが非常に不便である。そのようなことが色々なことが出てくると思う。

中島生涯学習課長

だから時間に特化してアンケートを取り、それを踏まえて何らかの検討をしたいと思う。

中島委員

アンケートを出したとしたら、すぐが変わると思っている人は少ないが、方向を変えて下さると思って一生懸命書いたという方が大多数である。次のアンケートを出すのであれば、あまり時間を空け過ぎないで、どんどんやって行かないと、やりっぱなしではないが、今でさえも、あのアンケートはどうなったのかと私に聞かれる。できるだけ早めに、次のアンケートをやりますということの告知など何かしていただくと、皆さん納得してアンケートを出して下さると思う。今回もアンケート出すのは面倒という風に言ったが、とにかくアンケート出さないと使えなくなるから出してと皆さんにお願いしたので、出来るだけそのような意味でも、利用者の方たちが増えていって、良い文化都市鎌倉になるようにしたいと皆が思っている。

中島生涯学習課長

我々も思っているので、時間を空けずに指摘を受け止めて前向きに検討していく。ただ、指定管理の方に協力して頂いて効率的な方法を探りつつ、ある程度利用していただいた後でということも踏まえながら、なるべく早く進める。

中島委員

指定管理者導入の前に時間区分が変わり、それから指定管理になった。だから役所は汚いと言う方が多い。ざっくりばらんな言い方で申し訳ないが、それをやるのだったら、指定管理がきちんと管理してくれればいいのに、指定管理導入の前にそういうやり方をして、ぐだぐだで指定管理者もいるがわからない、市民が言っても分からない。これは無いだろうというのが、まず利用者たちも最初の声だった。その辺の事がうやむやにならないで、きちんとした意味があってやっているのであれば、それをきちんと通していただけたらと思う。

中島生涯学習課長

繰り返して申し訳ないが、この施設は、病院とか消防とか、そういう施設とは違い、むしろ利用者の方々と作り上げていく要素が大きいものと捉えている。その辺については、ご理解いただきつつ、やらせていただこうと思っている。

中島委員

今度、ゆっくりお話を伺わせていただきたい。

蛭田議長

私は、他市でも委員をしているが、この問題はいっぱいである。やはり行政の人との話し合いの中で、どれが一番いいのかなという話ができる。やはり利用するにはお金がかかり、団体も色々いるので利用の仕方が違う。だから難しい。しかし、今、生涯学習課長も言ったように、またこのアンケートは、もう一度この辺を伺ってみたい。それをまた色々な人に伺ってみたい。と言っているのだから、その辺をもとに中島委員さんは色々な人のご意見を伺って、たぶんこの場でお話しされていると思う。1つ1つ聞いていて凄く分かる。ここは駄目だから、逗子へ行こう、藤沢へ行こう、神奈川県民ホールを使おうとなる。それぞれの情報が速い。アンケートのデータがあるから分かることもあるので、アンケートにしなかったら出て来ないことである。やはりその成果を取った方がいい。

岡田委員

今の話は、例えばどういうものを言っているのか。間 15-5 の結果について、これはまとめられているのが、何時間の希望が理想的なのか。あと①から⑬の時間帯がどこからが理想とされているのかという時間単位の結果だと思うが、例えば、今の話でいくと⑤⑥⑦⑧という組み合わせにチェックしている人はどれくらいいるか。時間単位の組み合わせを見ると、どういう所が時間として希望されているのかという、ブロックを希望されているのかということが分かってくるのではないかと思う。読み方が違っていたら教えてもらいたい。

中島生涯学習課長

時間帯ごとに、ご指摘の通りで、全体で見ると合っている方と合っていない方が拮抗しているように見える、というところで、止めると駄目だと思い、一番利用が多い希望の時間帯について深堀りしたというところである。明らかにこの部分だけを見ただけで、利用時間帯は区分によっては、明らかに不都合があるという考えになっている方が多いという。次は、まさに利用時間枠を実際どうすれば一番、使い勝手が良くなるかというところで、例えば先程申し上げたとおり、1時間ごととか、いくつか選択肢をお示しする形でのアンケートになるのかと考えている。もっと細かく見ていくと恐らく分かるという事は、委員の言う通りあるとは思いますが、すでにこの部分だけ見た中で次の質問をお願いしないといけないという認識を持ったので、このような申し出を説明させてもらった。

蛭田議長

ほかはよろしいか。

岡田委員

次の質問をされる事が駄目とかそういうのは全然ないが、ここのデータだけ見せていただいた時に11ページの方の表では⑥、⑦、⑧というのが9時～12時、13時～16時、17時～21時はここよりも既存の時間帯とみて、集計されているのが、実際に110件の回答の方はこの①～⑬の枠の中でどんなことをチェックしてきたかによって変わっている。ここでの話をした、⑤の13時から⑧の17時までをチェックしているとすると、例えば、もし時間帯を見直すとして、今回の件を取り戻す事は出来るのではないかと、という発想である。

中島生涯学習課長

団体集計というのは10ページの②か。

岡田委員

私が今見たのは11ページの下段で、ホールについてという表があるので、これが⑥、⑦、⑧で、⑥が9時～12時、⑦が13時～16時、⑧が17時～21時、という事で区切りをつけられたもので、そもそもアンケート自体が9時・10時・11時・12時・13時という全部の区切りの中で、どこが一番理想かというところをチェックされていると思う。そうすると11ページとは別に、そもそも皆さんが理想とされるものにはブロックとしてではなくチェックが付く。であるから120個色んな組み合わせがあると思うが、その中で出来れば、11ページの⑤、⑥、⑦、⑧つまり13時～17時のところでチェックをしている人はいると思うが、そういう時間帯を設けておくと皆さん使い勝手がいいのかなというように思う。今後見直すときの材料になるのではないかとということである。

中島生涯学習課長

要は、これを元にアラカルトを考える時に、良く使っている時間帯というところを組み合わせる形で理想的な選択肢を用意するといったように、提案するに当たっての検討材料の一つになっていくのではないかと、ということで理解した。

蛭田議長

他にあるか。今日は凄く大事な話だったと思う。よく検討しながら、使い勝手の良い方向で進めて頂きたいと思う。ではその結果のご報告について意見はあるか。よろしいか。では認めるという事にする。

イ「鎌倉市庁舎現在地利活用基本構想」に向けた社会教育からの意見と基本計画策定に向けた現状について（議案集 P2-3）

中島生涯学習課長

こちらは前回の第一回社会教育委員会議以降に、社会教育委員の皆さまからご提案頂いた内容を取りまとめたものとなる。頂いた意見を参考にしながら市長部局と連携しながら検討を進めていく。3ページのところで頂いた意見「機能アイデア」の中で、「科学館がないので、地球や宇宙について身近に学べる施設の設置について」という意見があったが、限られたスペース、人材の中で現状、科学館としての設置は難しいと考えており、図書館で今まで行われてきたサイエンスカフェ、「科学読み物研究会」の連携等を進めながら、本・情報そして情報活用法の講座等を通して科学する心のハブとなれるように取り組んでいこうと考えている。「機能についての要望」で、「現在の生涯学習センターのように舞台機

構を備えたホール・楽屋・リハーサル室・音楽室・集会室・ギャラリー等を備え、きちんとしたホールイベントが出来ることが必須である」との意見をいただいている。教育委員会としては、それぞれの機能を複合化することで、生涯学習センター、図書館単体では生まれなかった様々な可能性があることから複合化していく方向で考えているが、生涯学習センターに現存している広さ、機能の存続は必須と考えており、担当課にも強く訴えているところである。続いて、資料「第13回本庁舎等整備委員会資料」をご覧ください。本資料は、令和5年7月11日の第13回鎌倉市本庁舎等整備委員会で、まちづくり計画部市街地整備課が提示した資料となる。9ページをご覧ください。基本機想では「検討する」という位置づけであった生涯学習の集会室機能、歴史・文化・観光情報発信機能、NPOセンター機能について、「導入する」としている。また、これらの公共機能に加え、「ふみくら」の理念に共感いただけるパブリックマインドを持った民間機能の複合化を検討していく。10ページをご覧ください。導入機能の複合化のイメージである。これは配置計画ではなくイメージとして平面図で表現をしたものになる。左が従来の複合化のイメージである。真ん中が「ふみくら」が目指す複合化のイメージである。「ふみくら」では可能な限り機能同士を区切ることなくボーダーレスに、一つの空間として一体的にしていきたいと考えている。なお、通常時も備蓄倉庫を用意することによって防災機能を有するが、右の図のように、災害時は、フェーズフリーの考えで、施設全体での災害対応ができるようにし、防災活動拠点、避難者への対応ができるように整備していく。15ページをご覧ください。現在の図書館や生涯学習センターなどの施設を参考に、複合施設におけるサービス提供に必要なスペースと面積を示している。「ふみくら」では、図書館機能を既存の中央図書館の中のトイレなどを除いた図書館スペースである約2030mから約2800mに拡充する。行政サービス機能については、オンライン手続き、対面での相談、本庁舎の窓口とつなぐ個室ブース、これに加え、サポートスタッフの執務スペースを合算し、約330mが必要な面積とした。また、「わかたま」やNPOなどの活動スペースは、既存施設におけるスペースを維持しつつ、新たに情報発信スペースや共創スペースなどを設けることで、市民や観光客を問わず、様々な活動に参加が可能となるように整備をしていく。今後、頂いた意見も参考に、教育委員会としては市長部局とも連携しながらよりよい施設となれるよう努めていく。

蛭田議長

報告について意見はあるか。

石井委員

意見ではないが、「ふみくら」というのは色々なスペースがあるが、例えばユース活動スペースの時間というのは夜までやっているとかはあるのか。市庁舎なので5時で終わりなのか、それとも、もう少し夜9時までできるのか。

中島生涯学習課長

当然、教育委員会で所管している生涯学習センターなどの利用時間については、利用時間が狭まったりするようなことは考えていない。ただ新しい取り組みだということもあり、併存する施設との実際時間、こういう時間帯にはこの機能があたりとかということについては、これから擦り合わせがあるのかとは考えている。今はどちらかと言えば教育委員会がこうして欲しい、こうしたいという段階なので、そのなかでこういう形になって市長部局から示された、ということである。

中島委員

このホールは、どこも21時まで使えるとか、21時や22時まで使える事が前提と言うことか。

中島生涯学習課長

もちろんそうである。

中島委員

それぞれが場所によって今までやっていた既存しているところ、少し読んだ感じでは、既存しているところが、既存出来るような事を合致して行って、それぞれがやっているみたいな感じのイメージを受けた。だから逆に言えば夜もっとやってもらいたいという事があるのであれば、それを希望した方がいいとは思った。

小林教育文化財部長

まだ時間まで具体的に決めてないのが現状である。今ある既存はそのまま維持しつつ、生涯学習センターの21時か22時まで、役所機能は17時15分という事になると思う。フリースペースがかなり広い場所になるので、子供達がいるとなると警備の関係とか色々あるので、フリースペースをどのくらいまで使えるのかというのは、今後の話とと思っている。時間までの細かいところまで具体的ではなくても、現状機能の学習機能を活かす中で維持しようと今は考えている。そういう構想である。

石井委員

新規の建物ではなく、既存の建物を活用するので、限界はあるというのは十分理解出来る。

小林教育文化財部長

今の時点では既存の建物を使うかどうかということは、まだそこまで決まっていはいない状況である。庁舎が移転する大きな理由として耐震の関係がある。市役所機能としては0.9までやると、ほとんど全部に筋交いみたいなものを入れることになり、全く機能が悪くなってしまう。図書館だとそれより若干低い基準で出来るようにはなるので、出来るかも知れないが、建て替えるか、既存のままでいくかという事もまだ決まっていないのが現状である。今後の検討課題である。

石井委員

そのように言ったのは、月に数回は夜に会議があつて、藤沢市役所新庁舎の会議室に行く。その時に市民活動スペースというのが5階にあり、21時ぐらいに通ると、子どもたちがまだ勉強していたりする。駅から近く、このようなスペースが出来ればいいと思う。

小林教育文化財部長

私達もそう思っているのだから、その辺りも私どもの意見としては伝えていきたい。夜には行った事がないが、21時ぐらいにも使いたいと言う事か。

下山委員

「わかたま」のスペースが全然変わってない。もう少し広くしてあげればと思う。夏休みを見ると、たくさん来ているし、あそこに1人だけでも指導者、大人の目があるとまた違うのではないかと思う。図書館がこのような感じであるならば、作っていただければ嬉しいと思う。

小林教育文化財部長

若者のスペースの拡充というのは当然必須だと思う。今のあの規模がよいとは全く思っていない。フリースペースをどれだけ確保できるかというのが我々の使命であると思っているのだから、拡充したいと思う。

下山委員

よろしく願います。あの囲いだけの区切りだけでないようにしてほしい。

蛭田議長

他にあるか。

事務局：松山社会教育主事

本日欠席の梨本委員からコメントを受けているので代読してよろしいか。「社会教育委員会議は鎌倉市の社会教育を支える図書館等の施策を扱うが、構想段階で情報が提供されず、パブリックコメントの段階での意見聴取であったことが残念。図書館としての機能と面積が縮小されることなく評価されることを願っている。」ということである。

蛭田議長

私も1つ良いか。鎌倉は中央公民館があり、それが生涯学習センターに名前を変えた経緯がある。生涯学習センター構想等ではよく、パソコンが出来る部屋、料理、ちょっとしたレクリエーション、高齢者の体育、若者の音楽ができる、茶室、グループサークルが利用できるような施設機能など、様々な意見ができる。他市で関わったときがあったがかなり揉めた。生涯学習センターは、前は年寄りがたくさん集まり活動していたが、いわゆる地域が企画、意見ができるような施設が集まって、パソコンが少し出来るとか、料理とか音楽、小ホールのな発表会が出来るとか、そういう部屋があると交流できる。言い始めたらきりが無いが、他の地域の生涯学習センターも機能はいっぱいあるので、そういう機能を入れながら、全部満足という訳にはいかないかもしれないが、そのようなものがあると良いと思う。

中島生涯学習課長

鎌倉生涯学習センターは料理室がない状況である。これは集会室の機能については入れる余地があるので、料理室については希望する。料理の話だけさせていただくと、この構想は非常にわかりやすい部分があり、例えば料理について興味を持った方が来た時に料理の本がある、実際に料理室で料理の教室をやっている、料理のサークルがあると言うようなところが一つに集まって来るイメージがやはり良い。一つ複合化の具体的なプランとして、その中でそれぞれの部屋に持つ機能いうものはどんどん考えていき、とりあえず音楽、防音と言った関係の部屋、ホールはもちろん、ホールとは別にそのような部屋が受けられないか、あとは料理室については作って欲しいとかというような感じで、今はまだ部屋の面積でこのような形になったが、機能については、これから良いものにしていくための作業を進めていくということである。

岡田委員

先程、梨本委員から図書館のスペースのコメントがあったが、それについて聞きたい。

小林教育文化財部長

竣工は2300平米から2800平米、集団スペースは増える事になっている。あとフリースペースとしてやるところも、図書館の本を自由に持って行けるようにしたいと考えているので、図書館の機能はかなり充実していくと考えている。

蛭田議長

鎌倉図書館を利用している一人だが、近代資料というのがあるが、児童文学とか企業誌とか江戸時代、黒本とか青本とかある。鎌倉の文化の中にあると凄く良いなと思う。そのようなことまですると金がかかって仕方ない。ただ鎌倉市民の中で文化的に結構レベル高い人がいるので、寄贈にしたら集まるのではないかと思う。少し余計な話かもしれないが、国立の漫画の原画資料館を作る運動がある。子供の文化の原画それを国立の施設として作ろうという動きもある。漫画と言うのは鎌倉に関わるものも多

くあるので、そのような所に目を向けながら、図書館の機能も結構話題のあることができる可能性もある。

小林教育文化財部長

地域の資料とか、地域ごとに展示する、ということは我々の構想としては、我々の現在地の活用の中では思っただけではなかったところである。

蛭田議長

寄贈を受けるのは良いが、整理が追いつかない。余計なことかもしれないが、ある市の社会教育をやっている人が、寄贈がダンボールいっぱい積み上げられて、整理がなかなか追いつかないと言っていた。

他意見があるか、なければ基本構想については了承することとする。

ウ 令和5年（2023年）8月から10月までの行事一覧について（議案集 P4-8）

蛭田議長

各課の行事一覧について意見などあるか。なければその他に入る。あれば課の方へお願いします。この件については了承することとする。

（2）その他

ア 令和5年度神奈川県社会教育委員連絡協議会研修会について

事務局

委員の皆様には内容をメールで送った。開催日は9月4日、テーマは「社会教育委員と社会教育主事の連携について」総合療育センターで開催される。2名の出席が可能なので、参加をお願いしたいと思う。今月21日まで受け付けているので、ご希望があればお願いします。

イ 第54回関東甲信越静社会教育研究大会栃木大会について

事務局

お手元に大会の要綱を置かせていただいた。開催地が栃木県宇都宮市になっており、予算措置をしていないことから案内のみとなる。

蛭田議長

これは、お金は出ないが、希望すれば参加出来るという事か。

事務局

そうである。

ウ 次回定例会（11月）の日程について

事務局

次回定例会は11月定例会となっている。事務局としては、11月7日（火）、11月10日（金）、11月13日（月）の午後開催を考えており、11月13日を第一候補で考えている。

蛭田議長

他にあるか。なければ、これで第2回会社会教育会議を終了する。